

深川高等学校令和5年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～8組

教科担当者：

使用教科書：「現代高校保健体育」（大修館書店）

使用教材：「ステップアップ高校スポーツ」（大修館書店）

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	体づくり運動 (敏捷性を高める運動・柔軟性を高める運動・巧緻性を高める運動)	生徒の運動経験、能力、興味、関心等多様化の現状を踏まえ、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせる。	実技テスト・実技記録・授業への取り組みなどを総合的に判断し評価を決定する。	6
	種目選択 (バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン)	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
	種目選択 (バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン)	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。	実技テスト・実技記録・授業への取り組みなどを総合的に判断し評価を決定する。	9
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。	実技テスト・実技記録・授業への取り組みなどを総合的に判断し評価を決定する。	9
	スポーツテスト （立幅跳・ハンドボール投・1500m走・1000m走・シャトルラン・反復横跳・握力・上体起こし・長座体前屈）	生徒が現在における自らの体力状況を知り、継続して運動することの意義と体力向上への意識付けを図る。		
	スポーツテスト （立幅跳・ハンドボール投・1500m走・1001m走・シャトルラン・反復横跳・握力・上体起こし・長座体前屈）	生徒が現在における自らの体力状況を知り、継続して運動することの意義と体力向上への意識付けを図る。		
	水泳 水泳理論 体づくり運動	水に対する正しい知識と練習法を学び、安全なスポーツとして余暇に活用できるようにする。泳力の低い生徒と入水できない生徒に水泳理論と補強運動を行う。		
	水泳 水泳理論 体づくり運動	水に対する正しい知識と練習法を学び、安全なスポーツとして余暇に活用できるようにする。泳力の低い生徒と入水できない生徒に水泳理論と補強運動を行う。		

指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。	実技テスト・実技記録・授業への取り組みなどを総合的に判断し評価を決定する。	6
水泳 水泳理論 体づくり運動	水に対する正しい知識と練習法を学び、安全なスポーツとして余暇に活用できるようにする。泳力の低い生徒と入水できない生徒に水泳理論と補強運動を行う。		
水泳 水泳理論 体づくり運動	水に対する正しい知識と練習法を学び、安全なスポーツとして余暇に活用できるようにする。泳力の低い生徒と入水できない生徒に水泳理論と補強運動を行う。		

7
月

8月	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	水泳 水泳理論 体づくり運動	水に対する正しい知識と練習法を学び、安全なスポーツとして余暇に活用できるようにする。泳力の低い生徒と入水できない生徒に水泳理論と補強運動を行う。	実技テスト・実技記録・授業への取り組みなどを総合的に判断し評価を決定する。	9
	水泳 水泳理論 体づくり運動	水に対する正しい知識と練習法を学び、安全なスポーツとして余暇に活用できるようにする。泳力の低い生徒と入水できない生徒に水泳理論と補強運動を行う。		
	水泳 水泳理論 体づくり運動	水に対する正しい知識と練習法を学び、安全なスポーツとして余暇に活用できるようにする。泳力の低い生徒と入水できない生徒に水泳理論と補強運動を行う。		
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。	実技テスト・実技記録・授業への取り組みなどを総合的に判断し評価を決定する。	9
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		

指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月 種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。	実技テスト・実技記録・授業への取り組みなどを総合的に判断し評価を決定する。	10
種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		

指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。	実技テスト・実技記録・授業への取り組みなどを総合的に判断し評価を決定する。	6
種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
体育理論	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		

12月

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。	実技テスト・実技記録・授業への取り組みなどを総合的に判断し評価を決定する。	6
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		
	種目選択（バレーボール・バスケットボール・サッカー・テニス・ハンドボール・バドミントン）	グループ活動を通して、公正・協力・責任などの態度を育てる。		

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月				

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				